

## 令和6年度 第1回理事会の開催

令和6年度第1回理事会が令和6年6月4日、日本獣医師会会議室において開催された。本理事会では、決議事項として、6議案について諮られ、可決された後、説明・報告事項、日本獣医師連盟の活動報告等について、説明・報告が行われた。議事概要は以下のとおりである。

### 令和6年度 第1回理事会の議事概要

I 日時 令和6年6月4日(火) 14:00～17:30

II 場所 日本獣医師会・会議室

### III 出席者

【会長】 藏内勇夫

【副会長】 砂原和文、鳥海 弘、栗本まさ子

【専務理事】 境 政人

【地区理事】 田村 豊(北海道地区)

小山田富弥(東北地区)

宇佐美 晃(関東地区)

上野弘道(東京地区)

山田有仁(中部地区)

西山治生(近畿地区)

高島一昭(中国地区)

戒能 豪(四国地区)

草場治雄(九州地区)

【職域理事】 佐藤れえ子(学術・教育・研究職域理事)

立川文雄(産業動物臨床)

森 尚志(小動物臨床)

横尾 彰(家畜共済)

片岡辰一郎(家畜防疫・衛生)

加地祥文(公衆衛生)

佐伯 潤(動物福祉・愛護)

【監事】 市川陽一郎、佐々木一弥、柴山隆史

【顧問】 酒井健夫

【欠席】 村中志朗(顧問)

### IV 議事

#### 【決議事項】

第1号議案 令和5年度事業報告及び決算に関する件

第2号議案 第81回通常総会に関する件

第3号議案 役員候補者の選出に関する件

第4号議案 諸規程の一部改正に関する件

第5号議案 災害見舞金の支給に関する件

第6号議案 農林水産省に対する認定要件確認機関の指定申請に関する件

#### 【説明・報告事項】

1 マイクロチップ装着・登録の義務化に向けた対応に関する件

2 政策提言活動等に関する件

3 特別委員会及び部会委員会に関する件

4 2024年アジア獣医師会連合(FAVA)大会及び2026年世界獣医師会(WVA)大会に関する件

5 獣医学術学会年次大会の開催に関する件

6 令和6年度動物愛護週間中央行事及び2024動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”の開催に関する件

7 公益社団法人 日本獣医師会 藏内勇夫会長 世界獣医師会(WVA)次期会長就任祝賀会に関する件

8 職務執行状況に関する件(業務運営概況等を含む)

9 その他

#### 【その他の報告・連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

3 その他

### V 会議概要

#### 【開会】

事務局から定款第41条に規定された定足数を満たし、本理事会が成立することが報告され、開会した。

#### 【会長挨拶(大要)】

本日はご多忙の中、本年度第1回目の理事会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

未曾有の被害をもたらした能登半島地震が発生し、5カ月を経過いたしました。日本獣医師会は発災当日、緊急対策本部を設置して、石川県獣医師会が立ち上げた現地動物対策本部と連携し、これまで被災動物の救護、一時預かり、支援金の募集など、被災地の支援活動に精力的に取り組んできたところであります。本日は、本震災により被害を受けた会員構成獣医師に対する被害見舞い対応をお諮りするとともに、発災から半年を経過し、今後の活動に一定のめどが立ったことから、今月末で支援対応を一区切りさせていただきたいと考えておりましたが、つい先日また大きな揺れがございましたが、このことについては皆様方のご意見をよく賜って方針を固めたいと思っております。

さて、令和6年4月16日から3日間、南アフリカ、ケー

プタウンにおいて第39回世界獣医師会大会（WVAC）及び世界獣医師会（WVA）総会2024が開催されました。16日に開催された総会において、このたびのWVA役員選挙の結果として、私が次期会長として選出されたことが報告され、正式に承認をいただきました。

また、総会開会中のガラディナーにおいて各国の代表と懇談する中で、獣医師が国境の垣根を越えてワンヘルスに主導的に取組み、人類への貢献に努めることが重要であり、さらなる獣医師の社会的地位の向上につなげたいと所信を表明したところ、多くの方々から賛同の声をいただきました。そのために、世界中の獣医師が一堂に会し、ワンヘルス実践活動の取組推進を決起する機会として、2026年の第41回WVACを31年ぶりに日本・東京で開催することといたし、準備を進めているところでございます。皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

一方、販売用犬猫のマイクロチップ登録制度に関わる課題につきましては、本年4月1日から登録手数料の適正化が図られるとともに、懸案であった法定登録データとAIPOデータの一本化、獣医師による平時の登録情報の検索、所有者の登録変更を確実に実施させるため、譲渡人であるペットショップ等への変更登録の義務化についても、環境省がようやくわれわれの要望に沿った形での検討を進めているところでございます。

さらに、厚生労働省においては、狂犬病予防法に基づく犬の登録手続、注射済票の交付手続、ワクチン未接種犬への催促通知等のデジタルトランスフォーメーション、DX化に向けたシステムの整備について提案をいただき、その実現に向け同省と検討を進めております。今後とも国民のニーズに応える制度の再構築とともに、地方獣医師会、会員構成獣医師にとって有用な事業となるように努力をしております。

昨日から本日午前中まで、3人の監査の先生により決算監査を行っていただきました。大変貴重なご意見、ご指摘をいただくことができました。ありがとうございました。

本年度最初の理事会であり、今月26日開催の第81回通常総会に向けて重要な協議の場となります。皆様方には忌憚のないご意見をお寄せいただきたいと思っておりますので、よろしくお祈りを申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

#### 【決議事項】

**第1号議案 令和5年度事業報告及び決算に関する件**  
境専務理事から、資料に基づき説明された。

続いて、6月3日、4日の両日実施された決算監査の結果について、監事から以下のとおり監査報告がなされた。

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月

31日までの事業年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告をいたします。

#### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じ説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

#### 2 監査意見

**事業報告等の監査結果：**事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

**計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果：**計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。以上、監査報告です。

引き続き、監査講評を述べさせていただきます。

本年4月1日よりマイクロチップの法定登録に係る手数料が改定され、指定登録機関となった当初からの赤字累積に対する懸念に対し、今年度より一部収益改善が見込まれるものの、令和5年度末の会計は、先ほどの会長のご挨拶にもありましたが、2億円強の赤字決算となりました。

主な要因は、収益におけるAIPO事業収益の1億660万減と、経常費用である人件費、旅費交通費の増加であるが、収支状況の改善に当たって、AIPO事業の収益増加は見込めない。

同じく、本年4月には当会の藏内会長がWVA次期会長に選出され、2026年には世界獣医師会大会の東京での開催が決定され、FAVAに続き、日本獣医師会が世界へ向けて発信してきたワンヘルスの実践の舞台が準備された。ワンヘルスは獣医師が広く貢献する概念であるため、獣医師の社会的重要性や地位向上についての波及効果は大きいと考えられ、獣医師の専門家集団としての日本獣医師会が推進することには大きな意義がある。

一方、FAVA大会の開催時などのように、補助金を受けて実施する事業などとともに大会を開催したり、寄附による収益を活用できる体制を整備したりして、活動費

の一助にするなど工夫がされてきたが、今後も海外との交流機会が増加するゆえに、交通費の増加が避けられず、このところの円安がさらに当会の負担を大きくする要因にもなっている。

また、従来事業のうち費用対効果の高い成果として、情報提供対応事業では、オンライン開催の講習会やセミナー情報など、トピックスへの情報掲載は非常に有効な運用と評価されている。eラーニングコンテンツの充実も図られ、効果的な学術情報の提供を積極的に進められている。

補助金事業の受託も必要な活動資金の確保に貢献する面があるが、逆に、事業に対する労務増加に人員確保が課題となる面もあり、特定資産である法人会計準備資金の取崩しによる赤字への対応が行われてきたが、こうした対応を繰り返せば、この有限資産はいずれ近い将来、枯渇することは明白であり、思い切った経費節減と実施事業の見直しが不可避である。

今回の監査に当たり、機能的かつ効率的な監査手法を構築する目的で、法人の運営、事業の執行、施設備品管理、会計・経理、前回監査における指摘事項の改善状況、確認書類等について、事前にチェックリストを作成し確認をするとともに、予算編成と執行、労務管理の現状について把握に努めたので、その概要を報告し、所感を伝える。

まず、法人の運営に関しては、定款や諸規程などの整備状況及び現状との整合性を確認した。現在、社会保険労務士のチェックを依頼しているとのことであったので、役員が常に最新の情報を得られる手段を講じるように依頼をした。また、会員名簿や職務代理者の設定などの法定事項を確認した。

会議の開催状況は、総会資料で確認可能である。総会、理事会の開催状況は適切であり、議事録の作成状況は次長、局長が確認、議事概要の会員への情報共有については、獣医師会雑誌への掲載内容に加えて、地区理事が職務として各地区への情報伝達する際の一助となるよう、地区理事の要請に応じた補足説明を付加して対応するよう依頼した。また、理事会への付議事項については、以前の全国会長会議で指摘したとおり、報告事項が多く、協議の場としての理事会機能が不十分と指摘した。

事業計画については、例年3月の理事会で決議されているが、冒頭に触れたとおり、新型コロナの影響下で事業実施に制限があった年度のみ黒字となったが、それをまたぐ前後では赤字財政が複数年にわたって継続する状況であり、事業内容の取舍選択は喫緊の課題である。スクラップ・アンド・ビルドのための事業評価、見直しは必要である。また、予算を超える支出の執行には、理事会での協議や報告などの適切に関与が必要と考える。

職員の配置、構成及び処遇、勤怠状況の把握方法なども確認した。年次大会の対応などには今まで1人の次長

が対応されており、休日出勤が多かったが、1人の担当職員がついたことで、状況は改善に向かうと思われる。指定登録機関のコールセンター対応で、土曜日に本会職員3名が休日待機手当で対応されているが、留守番電話による案内対応などに切り替えた対応を環境省とも協議していただきたい。

勤務評定、人事考課については、専務理事が必要なときに次長に意見を聞いて判断されているとのことであったが、客観的運用のため、常に複数上司の意見を聞いたうえで、職員同士の相互評価を取り入れることを提案したい。

労務管理、服務に関することについては、定款施行細則第12条第2項の(4)に規定があるとおり、業務運営幹部会においてさらなる調査・審議をお願いしたい。

施設備品の管理についてはおおむね適切であるが、農水省補助事業の実施に関連して備品が増えたことから、備品台帳を整備する。

施設に対する火災保険、役員賠償責任保険、アジア研修生事業に関連した諸保険などについては、適切に加入されており、役員個人負担も徴収されている。

会計・経理に関する事項について、予算編成は前年度予算を基に作成されているが、前年度予算と当年度決算の乖離がある状況に鑑み、前年度決算内容や新年度事業計画を十分反映した予算作成により適切な事業執行につながると考え、提案する。

収支相償、公益目的事業比率、遊休財産額保有制度の3原則は充足している。会費や補助金の取扱いも適切である。寄附金の取扱いについては、公益法人として認定されている事業であり、募集目的が国内事業を対象とする前提を遵守する必要がある。

事業情報はホームページで公示しており、総会終了後に更新をしている。

経理規程により、会計責任者は専務理事が任命される。

帳簿の整理状況については、監査当日に監事が目視により確認するとともに、残高の突き合わせを実施した。

公印は、公印管理規程によりそれぞれ管理者が定められ、適切に保管されている。

確認書類などについて、法人登記簿謄本の写しを確認し、基本財産となる土地・建物の不動産登記は定期的に確認してきた。

法定書類は、総会資料に記載済みである。

以上、チェックリストに基づいて確認した内容の概要を報告する。

また、事務の簡略化について、起案から決裁までの稟議書に押印する人数、必要な日数、押印しない職員との情報共有手段などについて確認したところ、簡略化、DX化が進められつつあり、一部は電子的署名の導入も実施とのことであった。

諸規程などの見直し、事務処理方法、労務関係などについて、現在、社会保険労務士とも相談している状況であり、令和7年の法人法改正も考慮して、さらなる改善をお願いする。

以上です。

#### 第2号議案 第81回通常総会に関する件

境専務理事から第81回通常総会における日時、場所、議案、書面議決等が説明され、異議なく了承された。

#### 第3号議案 役員候補者の選出に関する件

現役員の専務理事が6月26日の第81回通常総会の終結時をもって辞任すること、また特任理事が空席であることに伴い、6月26日に開催する第81回通常総会において選任を行う役員候補者について、役員候補者推薦管理委員会委員長から提出され会長が受理した役員候補者名簿が会長から本理事会に提出されたことから承認を求める旨説明され、異議なく了承された。

#### 第4号議案 諸規程の一部改正に関する件

境専務理事から、藏内会長が世界獣医師会次期会長に就任し、2026年には東京で世界獣医師会大会の開催も決定し、今後、欧米とのオンライン会議や出張の機会が増加するとともに、休日及び深夜対応が格段に増加することが予想されるため、「日本獣医師会職員就業規則」及び「日本獣医師会職員給与規程」の関係条文を一部改正し、深夜残業手当や休日出勤手当等の支給について職員の不利益にならないよう対応したい旨説明され、異議なく了承された。

#### 第5号議案 災害見舞金の支給に関する件

境専務理事から、令和6年能登半島地震における被災会員等への災害見舞金について、5月17日現在、4,932万3,768円の寄付が集まったことが報告され、お礼が述べられた。今後、見舞金規程に基づき関係地方獣医師会への支援を行うこと、及び6月末をもって見舞金の募集を終了することについて諮られ、異議なく了承された。

見舞金規程について、近年の制度改正等の状況を踏まえ、危機管理室において内容を精査しながら見直すことについて補足された。

#### 第6号議案 農林水産省に対する認定要件確認機関の指定申請に関する件

境専務理事から、いわゆる認定・専門獣医師制度の構築に係り、令和6年3月18日付け農林水産省消費・安全局長通知「農林水産大臣の指定を受けて獣医師の専門性に関する認定を行う者の指定等の基準について」に基づき、本会が設置している認定・専門獣医師協議会が、農

林水産大臣から認定要件確認機関として指定を受けるべく申請手続きを行うことについて説明され、了承された。

#### 【説明・報告事項】

##### 1 マイクロチップ装着・登録の義務化に向けた対応に関する件

境専務理事から、負傷動物等の返還を目的とした獣医師によるマイクロチップ登録情報検索については、動物愛護管理法施行規則が改正され、昨年6月に施行されたこと、一方、負傷していない状態で動物病院に保護された迷子動物や被災地で保護された動物については獣医師による情報検索はできないことが説明された。また、環境省が行ったアンケートでも、回答者の8割が動物病院による検索と飼い主への連絡を希望していることが紹介された。

環境省と協議を進めている今後の対応として、迷子動物の返還のみならず、獣医師が登録情報を確認した際に転居等で実際の住所と登録されている住所が異なる場合に飼い主に変更を促すなど、確実な情報登録に獣医師が果たすことのできる役割は大きいことから、動物に装着されたマイクロチップの情報を獣医師が検索する権限をもつため、所有者の責務に係る措置の指導に努める旨を獣医師の責務として法的に位置付ける必要があること、このための法改正を秋の臨時国会で行っていただくよう関係各所に要請したい旨が説明された。

また、厚生労働省との間で、狂犬病予防関係手続のDX（デジタルトランスフォーメーション）化構想について検討していること、その内容は犬の登録、手数料の収納、予防注射の実施記録等を含む関連事業について、地方獣医師会への委託を含む形でのDXを推進するための検討を開始するものであることが説明された。

##### 2 政策提言活動等に関する件

境専務理事から資料に基づき説明された。

##### 3 特別委員会及び部会委員会に関する件

ワンヘルス推進検討委員会について草場理事から説明された。続いて部会委員会について境専務理事から全体の運営状況が説明された後、学術・教育・研究委員会について佐藤理事から、家畜衛生・公衆衛生委員会について片岡理事から、動物福祉・愛護委員会について佐伯理事からそれぞれ説明された。

##### 4 2024年アジア獣医師会連合（FAVA）大会及び2026年世界獣医師会（WVA）大会に関する件

第23回FAVA大会が、本年10月25日から27までの3日間、韓国のデジョンで開催をされることが紹介され、参加が依頼された。また、2026年の世界獣医師会

大会について、本年4月に開催されたWVA総会で東京での開催が承認されたことが報告された。今後、東京都や東京観光財団などの協力の下、大会準備委員会、大会組織委員会を組織して準備を進める予定であり、令和8(2026)年4月21日から24日までの4日間、東京国際フォーラムで開催される大会への協力が依頼された。

#### 5 獣医学術学会年次大会の開催に関する件

境専務理事から第42回の学術学会年次大会は、令和7年1月24日から26日まで、仙台国際センターで開催予定であることが報告された。なお、翌年の令和8年は世界獣医師会大会が開催されることから、年次大会の開催方法について開催候補地とも十分に調整して検討を進めることとされた。

#### 6 令和6年度動物愛護週間中央行事及び2024動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” の開催に関する件

境専務理事から、令和6年度動物愛護週間中央行事について、屋内行事は9月23日に東京、上野の国立科学博物館で開催され、日本動物児童文学賞の発表と授与ほか講演会等が行われること、屋外行事は9月21日に駒沢オリンピック公園で動物感謝デーと同日同会場での開催となることが説明されるとともに、動物感謝デーへの協力が依頼された。

#### 7 公益社団法人 日本獣医師会 藏内勇夫会長 世界獣医師会 (WVA) 次期会長就任祝賀会に関する件

境専務理事から、藏内会長のWVA次期会長就任祝賀

会について、9月20日に開催予定の全国獣医師会会長会議の後、17時半から明治記念館2階「富士」の間で開催したい旨説明された。従来開催していた動物感謝デー協賛者等による関係者懇談会については、本年は当祝賀会に代替したい旨説明された。

#### 8 職務執行状況に関する件（業務運営概況等を含む）

境専務理事から本年3月1日から4月30日までの業務運営概況が説明された後、田村理事、小山田理事、宇佐美理事、上野理事、山田理事、西山理事、高島理事、戒能理事、草場理事から令和5年12月1日から本年4月30日までの各地区の報告がなされた。

#### 【連絡事項】

##### 1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

境専務理事から当面の関係会議等の開催日程が説明された。

##### 2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

境会計責任者から、関連会議への出席、要請活動等について説明された。また、令和7年に行われる参議院議員選挙に向け、有村治子参議院議員を連盟として推薦する方向で4月8日に政策協議を行ったことが報告された。

#### 【閉会】

藏内会長から全ての議案が終了した旨報告され、円滑な議事進行への協力にお礼が述べられた後、事務局から閉会が告げられた。